

# 戦 評 用 紙

平成29年度学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会  
バスケットボール競技大会 埼玉県予選

平成29年6月24日

会 場 春日部市立総合体育館

Gコート第1試合

対 戦	埼玉栄 高校	14 - 12	昌平 高校
	65	11 - 10	36
		23 - 7	
		17 - 7	

第1P 決勝リーグ第1戦、お互いにハーフコートマンツーマンディフェンスで始まる。高さに勝る埼玉栄はリバウンドから速攻につなげたり、インサイド中心にボールを集めたりして、#7や#4で攻めるが、昌平の素早いダブルチームで得点することができない。昌平は高さこそないが激しいディフェンスからボールを奪い、#14 #15の速攻や#12の3Pで得点する。埼玉栄がインサイドに対して、昌平は外角中心と対照的であるが、埼玉栄はターンオーバーで得点が伸びないのに対し、昌平も積極的に3Pを狙いに行くが決めきれない。ロースコアな重い展開となり、昌平がタイムアウトを請求。しかし、両チームともターンオーバーが続き、得点は伸びず14対12で終了。

第2P 主導権を掴みたい昌平は、メンバーチェンジを有効的に使い、足を止めずに激しいディフェンスで相手のミスを誘って3Pを積極的に狙う。埼玉栄は、#4の速攻や#7のリバウンドからゴール下で着実に得点し、このままリードを広げたいがターンオーバーが目立ち、得点を伸ばせない。両チームとも積極的にシュートを狙い、リバウンドに参加するなど激しいボール争いが続く。埼玉栄は、#7の個人技で得点して行くが、残り時間1:08で負傷によりベンチに下がってしまう。直後に昌平#13が3Pを決めて勢いに乗る。埼玉栄は、すぐに速攻を狙うがターンオーバーに終わり25対22で終了。

第3P 序盤、埼玉栄#9の3Pで得点が動き出す。昌平は#15のドライブ、#11の3Pで得点を重ねて行く。前半同様に、外角からシュートを狙って行く昌平であるが、3Pが決まらず得点が止まってしまう。一方、埼玉栄は#6の連続3Pや#9のジャンプシュート、#5の3Pなどで着実に得点を重ねリードを広げる。昌平は残り時間3:19でタイムアウトを請求するも、ターンオーバーが続き得点できない。埼玉栄は、#8、#16のドライブで得点するなど速攻も絡めながら点差を広げ48対29埼玉栄リードで終了。

第4P 埼玉栄の勢いは止まらず#5 #11 #15の連続3Pや#4、#15のゴール下で得点し更にリードを広げる。昌平も#4の連続3Pで得点するもゲーム終了。65対36でリーグ戦初戦を埼玉栄が勝利した。

(記録者：児玉高校 塩川 優太)